

第32回 北海道建青会 全道会員大会

礎

いしづえ

次世代への基礎づくり

■ 2017.9.15(金)

■ 主催 / 北海道建青会 ■ 主管 / 釧路建親会



大会スケジュール

記念式典

場所：釧路プリンスホテル 3F (北斗の間)

- 14:30 開 会 第32回北海道建青会全道会員大会 実行委員長 池 田 優
主催者挨拶 北海道建青会 会長 上 田 修 平
来賓紹介
来賓祝辞 国土交通省 北海道開発局 局長 和 泉 晶 裕 様
北海道知事 高 橋 はるみ 様
一般社団法人 北海道建設業協会 会長 岩 田 圭 剛 様
一般社団法人 釧路建設業協会 会長 白 崎 義 章 様
- 15:10 閉 会 第32回北海道建青会全道会員大会 副実行委員長 佐々木 泰 三

記念事業

場所：釧路プリンスホテル 3F (北斗の間)

- 15:15 基調講演 経済評論家/中央大学ビジネススクール客員教授 勝 間 和 代 様
- 16:30 パネルディスカッション
コーディネーター 株式会社北海道建設新聞社 代表取締役社長 荒 木 正 芳 様
パネリスト 釧路商工会議所 副会頭 濱 屋 宏 隆 様
パネリスト 北海道立釧路工業高等学校 父母代表 開 沼 晶 絵 様
パネリスト 村井建設株式会社 土木舗装部 土木課 真名子 仁 様
パネリスト 北海道建青会 会長 上 田 修 平
- 17:30 閉 会

懇親会

場所：釧路プリンスホテル 2F (鶴の間)

- 18:00 開 会
主催者挨拶 北海道建青会 会長 上 田 修 平
来賓挨拶 衆議院議員 伊 東 良 孝 様
釧路市長 蝦 名 大 也 様
乾 杯 北海道建青会 副会長 渡 辺 一 史
各地区紹介
- 20:00 中締め 北海道建青会 副会長 玉 川 裕 一

平成29年9月15日(金)



ごあいさつ

北海道建青会 会長

上 田 修 平

第32回北海道建青会全道大会の開催にあたり、全道各地から多くのご来賓と会員の皆様を、この冷涼の大地、釧路へお招きできたことを大変嬉しく思いますのと同時に、釧路建親会会員一同、心より歓迎申し上げます。

昨今、日本各地で大きな災害や、ゲリラ的に発生する集中豪雨は河川を氾濫させ家屋や田畑を押し流し、甚大な被害が発生しております。

そして道内においても、昨年、台風による発生した記録的豪雨により全道各地で河川が氾濫、収穫間近の農作物を呑み込み、日勝峠や十勝川など多くの箇所未だに大きな爪痕を残しております。

こうした自然災害による悲劇は、毎年のように繰り返されておりますが、国民の尊い生命と財産を守る社会資本整備の担い手として、その取組を着実に推進させなければならぬと決意を新たにさせられたところでございます。

遠い過去より人は常に自然の恵みに抱かれ、生活を育んできたわけですが、時としてこうした想定外の脅威にさらされ、大きな苦しみと深い悲しみを背負うことがあります。

しかしながら、我々の先人達はそうした被害に遭う度にその脅威を記憶に刻み、自然と向き合い、時には人智を結集して抗いながら、自然との共存を模索して参りました。

そしてこの先も自然は支配するものではなく、叡知によって応用し、調和を保ち、その利用価値を昇華させていくものであり、また、その役割の先頭に行くのは我々建設業であり、維持・防災・復旧すべてにおいて、その責任を我々一人一人がしっかりと認識し、地域と共に推し進めていかなければならないと思っております。

さて、今大会のテーマとして掲げさせて戴きました、「礎」。

サブテーマを「次世代への基礎づくり」と題しましたが、今我々が取り組んでいる i コンストラクションや週休2日制などの働き方改革は、正に次世代へ通ずる基礎になり得るものであり、近年は人材不足が顕著になってきているこの業界ではありますが、この技術革新はすでに一部の分野で生産性を大きく向上させ人材不足を補うところまで来ております。

私ども建設業界では、建設産業を支える「担い手の確保・育成」が喫緊の課題となっております。

建設業を「若者が未来を描ける産業」として再生し、その技術を継承・発展させるためには、建設産業の魅力や地域建設業の果たす役割について、多くの人々に発信していく必要があると考えております。

本大会が、皆さんも取り組んでいる若年層の入職促進活動のさらなる改善の一助になれば幸いに存じます。

結びに、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、並びに建青会会員の皆様と、お世話になりました各関係者の皆様にご心より感謝の意を申し上げ、大会開催のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



第32回北海道建青会 全道会員大会開催に寄せて

北海道開発局長

和 泉 晶 裕

第32回北海道建青会全道会員大会が釧路市で盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

会議にご参加の皆様におかれましては、北海道開発行政の推進につきまして、日頃より特段のご理解、ご支援及びご協力を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。また、昨年8月の台風による災害直後の対応及びその後の復旧活動におきまして、多大なるご尽力を賜り感謝申し上げます。さらに北海道の建設業界の担い手として、また、地域に根ざした企業の一員として、地域振興、防災減災、社会貢献活動など様々な面で地域の維持、発展に深く貢献されていることに心から敬意を表する次第です。

「世界の北海道」をキャッチフレーズにした第8期北海道総合開発計画が閣議決定されてから2年目を迎えました。全国に10年先だって人口減少、高齢化を迎えている北海道においては、北海道の強みである「食」と「観光」を生かし、戦略的に振興を図っていくことが必須であると考えています。また、そのためには「食」と「観光」を支えている「生産空間」をどのように維持していくのかという視点がきわめて重要です。北海道開発局ではインフラの整備や管理を通じ、さらには「北海道価値創造パートナーシップ」のような官民連携の取組を進めながら、多くの道民や関係機関、企業等のご理解、ご協力の下、北海道の開発を推進してまいり所存です。

そのような中、「礎～次世代への基礎づくり～」をテーマとして今大会を開催し、建設産業への入職者の減少や土木技術の継承等の喫緊の課題がある状況において、北海道の建設業の将来像を考える機会とすることは、極めて有意義であり実りある成果を収められますことを期待しております。

国土交通省では、本年を生産性革命前進の1年と位置づけICTの全面的活用により建設生産プロセスの最適化を目指すi-Constructionの取り組みを進めているところです。北海道開発局としても、建設現場における生産性を向上させ、安定した休暇の取得、魅力ある建設現場の創出により若者が希望をもって入職し、多様な人材が活躍できる建設業を目指して、i-Constructionの一層の推進を図ることとしております。

次代を担う建青会の皆様には、ICTをはじめ新しい技術分野における積極的な取り組みを期待するとともに、北海道開発局としても皆様と連携・協力し取り組んでまいります。

建設業は、地域の守り手として、社会インフラの整備・維持管理はもとより激甚化する災害への対応等へ果たす役割は今後ますます大きなものとなります。皆様におかれましては引き続き、技術と経営に優れた企業づくりを進め、地域を支える魅力ある建設業として一層活躍されることを期待しております。

最後になりましたが、北海道建青会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



第32回北海道建青会 全道会員大会開催に寄せて

北海道知事

高橋 はるみ

第32回北海道建青会全道会員大会が、釧路市において盛大に開催されることをお喜び申し上げます。

また、皆様には、日頃から本道の発展に格別のご支援とご協力をいただいていることに、深く敬意を表しますとともに、今年の台風などに伴う被災地において、資機材や人員の確保が困難な中、公共土木施設をはじめとする道内の社会基盤の復旧・復興に多大なるご貢献をいただいております、心から感謝申し上げます。

本道の建設業は、社会資本の整備はもとより、自然災害への迅速な対応や冬季における日々の除雪などを通じて、安全・安心な生活の確保に大きな役割を果たすとともに、雇用機会の確保など地域経済を支える重要な産業です。

また、皆様には、交通安全や防犯などの社会貢献活動にも積極的に取り組んでいただいております、道民から厚い信頼が寄せられています。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、若い新規入職者の減少や、就業者の高齢化が進んでいることから、技術・技能の円滑な承継が困難となり、工事の品質確保などが果たせなくなることが懸念されており、中長期的な視点に立った担い手の確保・育成が重要となっています。

こうした中、本大会は、「『礎』 - 次世代への基礎づくり」をテーマに、未来に向けて必要な社会資本整備とその効果についての講演やパネルディスカッションなど、建設業の振興を図る上で大変意義深い内容となっており、議論が大いに盛り上がるとともに、社会資本整備の更なる質の向上につながることを期待しています。

来年、本道が「北海道」と命名されてから150年という大きな歴史の節目を迎えますが、道では、大切なふるさと北海道をより豊かな地域に築き上げ、次の世代にしっかりと引き継ぐとともに、その先の200年、300年を見据えた北海道づくりを進めてまいります。

皆様におかれましては、本道建設業の一層の発展にご尽力いただくとともに、地域経済を支える社会資本整備や災害に強いまちづくりなどを通じ、今後とも、道民の安全・安心な暮らしの確保に向け、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本大会のご成功と北海道建青会のますますのご発展、お集まりの皆様のご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



お祝いの言葉

一般社団法人 北海道建設業協会

会長 岩田 圭 剛

第32回北海道建青会全道会員大会が釧路市において盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

北海道建青会が、会員相互の交流と親睦を図りながら、建設業の発展と社会的地位の向上に努められ、それぞれの地域社会に大きく貢献されていることに、あらためて深く敬意を表する次第であります。

北海道の経済は、公共投資や設備投資の増加等により景気は緩やかながら回復し、建設業界の景況感に明るさをもたらしていますが、大都市と地方との事業量の地域間格差、さらには大手と中小の企業間格差も顕在化しており、地域建設業は依然として先行き不透明な状況におかれています。

地域建設業は、地域の基幹産業として、地域の雇用を守り、地域経済を支えるとともに、住民の安全・安心な暮らしを守るための社会資本の整備・維持という重要な役割を果たしております。そのためには将来に向けて技術者や技能工を確保し技術の伝承に努めていかなければなりません。離職者の増加や若手入職者の減少といった問題が生じており、今後の建設産業を支える「担い手の確保・育成」が喫緊の課題となっています。

このため、政府が進めている「働き方改革」の取組に対応し、建設労働者の賃金水準の向上や長時間労働の是正、週休2日制の推進など労働環境の整備をしていく必要があります。併せてi-Constructionを始めとする建設現場の生産性向上の取組も積極的に対応していかなければなりません。

皆様には、力強い行動力と新しい感覚による柔軟な発想のもとに、より一層ご精進とご研鑽を積み、魅力ある建設業づくりに、そして新しい地域づくりに存分に手腕を発揮され、ご活躍されますことを切望するものであります。

今大会は「『礎』次世代への基礎づくり」をメインテーマとし、率先して新しい価値を創造し実践を続け、地域建設業の存在価値を明確にし、新しい世代に引き継ぐ安定した社会環境と生活基盤を創り出すことを目的として、様々な活動が行われると聞いており、大いに期待を寄せているところであります。

終わりに、北海道建青会の今後ますますのご隆盛と会員各位のご健勝、ご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



ようこそ釧路へ

一般社団法人 釧路建設業協会

会長 白崎 義章

第32回北海道建青会全道会員大会が、東北道の玄関口 釧路市において開催されますことをお喜び申し上げますと共に、ご参加されます皆様方を心から歓迎致します。

ここ、釧路・根室管内は、夏の冷涼な気候と泥炭地・湿地が多く、農業にとっては厳しい環境であります。その活路を酪農業に見出し、弛まぬ努力が、道産生乳の1/3を生産する酪農王国の礎となっております。

漁業は、全国一のさんまをはじめ鮭・鱒・鰯・鯿・昆布等、道内の3割近い水揚げがあります。

世界自然遺産の知床国立公園、阿寒摩周国立公園、釧路湿原国立公園を有し、多様な温泉と壮大な自然があります。

近年では、夏でも冷涼な気候であることから長期滞在地として全国から注目が高まっております。

本大会のテーマが、「『礎』次世代への基礎づくり」であります。

150年余前に北海道と改称され、日本近代化に必要な産業用資源の開発・供給、並びに余剰人員の受け皿と食料増産、防衛等の為、未開で寒冷なこの地に誘われ、人の血と汗により開墾・開拓し、幾度となく大凶作に見舞われ生死をかけた歳月が今の北海道の礎であると思います。

終戦後、食料増産の使命が下り、高度成長期からは、産業構造や為替の変化で食料輸入が増加、外国食品事件から、安全・安心な北海道の生産物が、国内外から高い評価を受け求められております。

そして今年「北海道みんなの日」の北海道条例が施行されました。

建設業界は、北海道開拓と共に食料生産基盤の整備、産業・生活物資の輸送を担う鉄道・道路・港湾等の整備、住宅・社会資本整備を請負い、地域経済や雇用を下支えする基幹産業として重要な役割を果たしてまいりました。

皆さん方が持つ広く柔軟な思考と「温故知新」の精神をもって未来を考え今をつくり続けて下さい。いつの時代も刻々と変化を続けており、礎は、若人の発想力と行動力で築かれております。

北海道建青会の一員として研鑽してきた事を誇りに思いますし、皆さんも同じように思える事をご期待しております。

結びに本大会のご成功と北海道建青会のご発展、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げお祝いのご挨拶と致します。

記念事業

基調講演



演題／

『愛される土木・ 建築工事への道』

経済評論家／中央大学ビジネススクール客員教授

勝間和代様

1968年東京生まれ。経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授。
早稲田大学ファイナンスMBA、慶応大学商学部卒業。
当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得、大学在学中から監査法人に勤務。
アーサー・アンダーセン、マッキンゼー、JPモルガンを経て独立。
現在、株式会社監査と分析取締役、内閣府男女共同参画会議議員、
国土交通省社会資本整備審議会委員、中央大学ビジネススクール客員教授として活躍中。

ウォール・ストリート・ジャーナル「世界の最も注目すべき女性50人」選出
エイボン女性大賞（史上最年少）
第一回ベストマザー賞（経済部門）
世界経済フォーラム（ダボス会議）Young Global Leaders
少子化問題、若者の雇用問題、ワークライフバランス、ITを活用した個人の生産性向上
など、幅広い分野で発言をしており、ネットリテラシーの高い若年層を中心に高い支持を
受けている。
Twitterのフォロワー61万人、FBページ購読者4万6000人、無料メルマガ4万7000部、有料
メルマガ4000部などネット上で多くの支持者を獲得した。
5年後になりたい自分になるための教育プログラムを勝間塾にて展開中。
著作多数、著作累計発行部数は500万部を超える。

2015年1月、麻雀のプロ団体、最高位戦日本プロ麻雀協会のプロ試験に合格。
春からD1リーグに所属する。

パネルディスカッション

テーマ／次世代への基礎づくり

コーディネーター



株式会社北海道建設新聞社 代表取締役社長

荒木 正芳 様

プロフィール

昭和55年明治大学政治経済学部経済学科卒業。同年4月(株)北海道建設新聞社に入社。本社、旭川支社、空知支社の取材記者を経て、第2報道部長、第1報道部長、編集局編集局次長、総務局事務局担当、企画部長、経営企画担当など歴任。

平成26年10月常務取締役（経営管理統括）、平成27年5月代表取締役社長。

講演経歴

北海道開発局、北海道、札幌市、各市町村、各雇用促進支援協議会、業界団体その他行政・企業・団体に多数講演を実施。

パネリスト

釧路商工会議所 副会頭

濱屋 宏隆 様

東部開発株式会社 代表取締役社長

パネリスト

北海道立釧路工業高等学校 父母代表

開 沼 晶 絵 様

パネリスト

村井建設株式会社
土木舗装部 土木課

真名子 仁 様

パネリスト

北海道建青会 会長

上 田 修 平

株式会社上田組 代表取締役副社長



お礼の言葉

第32回北海道建青会全道会員大会

実行委員長 池田 優

第32回北海道建青会全道会員大会にあたり、何かとご多忙にもかかわらずご臨席を賜りましたご来賓各位、また全道各地からお越し頂きました会員の皆様に釧路建親会会員一同、心からお礼を申し上げます。

さて、人口減少が加速して高齢化が進む中、地方から都市への若年層を中心とする担い手の流出に歯止めがかからない全産業同じ環境下、私たち建設産業も人材離れ・超高齢化・入職者激減は深刻の度合いを深めています。

その時々様々な要因によって建設投資は大きく失われましたが、我々の産業の魅力までも失われたわけではありません。

わが国は先人達の努力により戦後の荒廃はすでに豊かな時代へと変遷しました。

しかし、残念ながら列島は自然災害が多発し、巨大地震が懸念され既存インフラ整備の老朽化も加速している中、地域の安全・安心が脅かされる状況に対し国も自治体も民間も様々な課題を抱えております。

そのような時代背景の中で私たち建設業には少なくない役割があります。

しかしながらその任を共に受けとめる仲間が減っていく、あるいは無くなるうとすらしている危機的状況にあります。

担い手三法が整った今、私たち自らが若者や女性を惹き寄せなければと、そして将来を共にする技術者をしっかり育成しなければならないと考えます。

今大会テーマを「礎」とさせて頂きました。

サブテーマを「次世代への基礎づくり」と題しまして、未来へ向けて必要な社会資本とは何か、そしてその整備がもたらす効果について勝間 和代 様に基調講演を頂き、パネルディスカッションでは建設業を「若者が未来を描ける産業」として再生し、その技術を継承・発展させるためにはどのように取り組んでいくか、多角な視点から議論頂ければと思います。

実行委員会一同、ご来賓の皆様、会員の皆様をお迎えするに当たり万全の配慮をしたつもりですが何分不慣れではございますので、不行き届きの点がございましたらこの紙面をお借りしましてお詫び申し上げます。

最後に、この大会を通じて北海道建青会の会員の皆様が更なる友好を深めるとともに、会員企業の益々のご発展を心からご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

平成29年度 北海道建青会役員

役 職	氏 名	所属地区	会 社 名	社内役職
会 長	上 田 修 平	釧 路	(株)上田組	代表取締役副社長
副 会 長	玉 川 裕 一	札 幌	(株)玉川組	代表取締役社長
副 会 長	渡 辺 一 史	函 館	渡辺建設(株)	専務取締役
相 談 役	斎 藤 敬 介	宗 谷	(株)共成建設	常務取締役
実行委員長	池 田 優	釧 路	夕力才工業(株)	代表取締役
理 事	高 玉 哲 朗	釧 路	高玉建設工業(株)	専務取締役
理 事	砂 田 英 俊	札 幌	北土建設(株)	代表取締役社長
理 事	坂 昭 弘	札 幌	勇建設(株)	専務取締役
理 事	平 谷 信 行	函 館	平谷建設(株)	代表取締役
理 事	紀 國 隆 介	函 館	紀の國建設(株)	専務取締役
理 事	酒 井 芳 宏	室 蘭	酒井建設(株)	代表取締役
理 事	出 口 直 冲	室 蘭	(株)出口組	代表取締役
理 事	斉 藤 和 之	帯 広	斉藤井出建設(株)	代表取締役
理 事	曾 根 啓 介	帯 広	(株)ネクサス	代表取締役
理 事	神 部 俊 克	空 知	(株)神部組	代表取締役
理 事	坂 田 啓一郎	空 知	日成建設(株)	専務取締役
理 事	渡 部 和 人	留 萌	渡部工業(株)	代表取締役社長
理 事	堀 松 誠	留 萌	白鳥建設工業(株)	代表取締役社長
理 事	橋 本 毅	旭 川	(株)橋本川島コーポレーション	代表取締役社長
理 事	生 駒 光 宏	旭 川	丸駒シビルサービス(株)	代表取締役
理 事	進 藤 竹 則	小 樽	(株)進栄	代表取締役
理 事	長 勇 人	小 樽	(株)長組	代表取締役社長
理 事	鴨 下 辰 哉	オホーツク	北辰土建(株)	代表取締役社長
理 事	坂 本 智 一	オホーツク	(株)坂本建設	代表取締役
理 事	田 中 太 一	宗 谷	田中建設(株)	代表取締役社長
理 事	佐 藤 将 弘	宗 谷	(株)佐藤組	取締役専務
事 務 局	渡 部 仁 志	釧 路	渡辺建設工業(株)	代表取締役社長
監 事	宮 永 隆 典	札 幌	宮永建設(株)	取締役工事管理部長
監 事	山 本 博 文	宗 谷	豊成建設(株)	代表取締役

北海道建青会会員

札幌建青会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	玉川 裕一	(株)玉川組	代表取締役社長	47
副会長	砂田 英俊	北土建設(株)	代表取締役社長	41
副会長	坂 昭弘	勇建設(株)	専務取締役	40
監事	藤井 公人	(株)藤井工務店	代表取締役社長	50
監事兼委員長	山田 健一郎	(株)山田組	代表取締役社長	50
政策研修委員長	中田 将博	道興建設(株)	専務取締役	42
委員	宮永 隆典	宮永建設(株)	取締役工事管理部長	36
委員	岩田 幸治	岩田地崎建設(株)	取締役常務執行役員	33
会員交流委員長	中山 千太郎	中山建設(株)	代表取締役	39
委員	石川 一行	(株)石川組	代表取締役社長	43
委員	岸本 竜司	岸本産業(株)	総務係長	29
事務局長	伊藤 雅輝	新昌建設(株)	代表取締役副社長	40

函館建青会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	平谷 信行	平谷建設(株)	代表取締役社長	46
副会長	渡辺 一史	渡辺建設(株)	専務取締役	42
副会長	高橋 千尋	(株)高橋建設	代表取締役	48
理事	工藤 純	(株)工藤組	代表取締役	47
理事	福西 秀輔	(株)工藤組	取締役営業部長	34
理事	石岡 秀貴	(株)石岡組	常務取締役	40
理事	大竹 直人	(株)相互建設	取締役副社長	45
理事	能登谷 大輔	(株)能登谷建設	専務取締役	42
理事	山崎 貴史	(株)山崎建設	専務取締役	42
理事	渡辺 洋司	星組渡辺土建(株)	専務取締役	33
監事	大野 一	(株)三和建設	代表取締役	46
監事	中村 展之	横山興業(株)	代表取締役社長	46
相談役	伊関 寿之	(株)伊関組	代表取締役社長	49
事務局長	紀國 隆介	紀の國建設(株)	専務取締役	35
事務局次長	菅原 峻	(株)菅原組	統括管理部営業課係長	33
事務局次長	森川 明紀	(株)森川組	営業部次長	29
	石黒 和浩	石黒建設(株)	代表取締役社長	51
	伊藤 大樹	伊藤アスファルト建設(株)	代表取締役社長	48
	折谷 弘之	(株)折谷組	代表取締役社長	48
	河野 光春	(株)河野組	常務取締役	48
	齊藤 大介	齊藤建設(株)	代表取締役社長	48
	城ヶ端 政次	城ヶ端建設(株)	代表取締役	52
	瀧澤 雅敏	和工建設(株)	代表取締役社長	54
	戸沼 淳	戸沼岩崎建設(株)	代表取締役社長	52
	中塚 卓朗	中塚建設(株)	専務取締役	53
	山田 晋市	近藤建設(株)	代表取締役	50
	若狭 正仁	(株)若狭組	代表取締役	50

室蘭経営研究会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	酒井 芳宏	酒井建設(株)	代表取締役	45
副会長	出口 直沖	(株)出口組	代表取締役	44
副会長	小金澤 昇平	(株)小金澤組	代表取締役	43
監事	矢部 道晃	北海土建工業(株)	代表取締役	49
監事	萩 幸	北興工業(株)	代表取締役	47
事務局長	磯田 洋一	(株)磯田組	代表取締役	37
事務局次長	幌村 佑規	幌村建設(株)	代表取締役副社長	36
事業委員長	金丸 健	豊浦建設工業(株)	常務取締役	39
事業副委員長	木村 耕志	(株)木村建設	代表取締役	48
事業副委員長	上田 宗寛	上田建設工業(株)	代表取締役専務	35
事業委員	永井 武憲	(株)永井組	代表取締役	48
事業委員	田湯 勝義	田湯タナ力建設(株)	代表取締役	45
事業委員	平村 徹郎	(株)平村建設	代表取締役	44
事業委員	櫻田 泰己	苫重建設(株)	管理部副部長	37
事業委員	池田 厚志	池田建設(株)	取締役事業部長	33
事業委員	山口 真志	(株)山口工業所	取締役	30

帯広二建会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
	西村 司	拓殖工業(株)	副社長	49
相談役	木川 靖洋	(株)アスワン	代表取締役社長	47
	丹野 泰彦	丹野建設(株)	代表取締役社長	47
	福田 憲司	(株)フクタ	代表取締役社長	46
顧問	河西 健一	栗林建設(株)	代表取締役社長	46
	小川 哲也	長尾建設(株)	専務取締役	45
幹事	阿部 孝光	(株)野田組	常務取締役	44
幹事	遊佐 俊治	(株)遊佐組	代表取締役	44
	丹野 健治	丹野建設(株)	専務取締役	43
監査	岡崎 慶太	(株)岡崎組	取締役	43
監査	石橋 堂裕	(株)石橋建設	専務取締役	42
代表幹事	斉藤 和之	斉藤井出建設(株)	代表取締役	42
	植村 高愛	植村土建(株)	代表取締役社長	40
	三井 雅弘	(株)三井組	常務取締役	40
幹事	川田 岳論	川田工業(株)	取締役 専務執行役員	38
幹事	藤原 將智	藤原工業(株)	取締役企画室長	37
代表幹事代行	萩原 一宏	萩原建設工業(株)	常務取締役	36
	加藤 悠太	加藤建設(株)	専務取締役	35
	萩原 広之	東日本道路(株)	取締役企画部長	35
会計幹事	山内 正裕	(株)山内組	常務取締役	34
事務局幹事	曾根 啓介	(株)ネクサス	代表取締役	30
	佐藤 大介	(株)本別建設工業	土木部	29
	川村 晃紀年	(株)川村組	取締役	27
	伊豆倉 鈴雄	(株)伊豆倉組	取締役業務室長	26

空知経営研究会（葉月会）

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	神部俊克	(株)神部組	代表取締役	48
副会長	谷村明紀	谷村工業(株)	代表取締役社長	47
副会長(SBW推進)	坂田啓一郎	日成建設(株)	専務取締役	41
監事	藤岡靖士	(株)藤岡建設	代表取締役社長	49
会員交流委員長	中村拓哉	福中建設(株)	代表取締役社長	46
地域交流委員長	北谷洋文	(株)北谷組	常務取締役	45
SBW推進委員長	植村正人	植村建設(株)	専務取締役	37
委員	浅井秀二	双葉建設産業(株)	常務取締役	40
委員	佐藤志代	光栄建設工業(株)	常務取締役	29
委員	佛田尚史	栄建設(株)	代表取締役社長	46
委員	佐々木進一	(株)北創	取締役本店長	31
委員	玉田尚久	玉田産業(株)	専務取締役	34
委員	荒井一朗	(株)樋口組	取締役	35
委員	中本大至良	中本土建(株)	取締役社長室長	34
委員	櫻井康貴	(株)櫻井千田	常務取締役	33
シニア会員	藤井雅仁	(株)北興建設	代表取締役社長	56
シニア会員	及川聡	及川産業(株)	代表取締役社長	55
シニア会員	田端千裕	(株)田端本堂カンパニー	代表取締役社長	52
事務局長	岸本友宏	(株)岸本組	代表取締役社長	38
事務局次長	奈良和樹	開発工建(株)	専務取締役	37

萌志会（留萌建設協会二世会）

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
理事	麻里隆三	初山別土建(株)	代表取締役	53
理事	森本勝己	(株)道北土木	代表取締役	52
理事	堀松秀樹	三協建設(株)	代表取締役社長	50
理事	山本道浩	山本建設工業(株)	代表取締役	51
監事	原田欣典	興北建設(株)	代表取締役社長	49
理事	堀松一郎	堀松建設工業(株)	代表取締役社長	49
副会長	秋山貴人	萌州建設(株)	取締役部長	48
理事	佐藤太紀	山高建設工業(株)	代表取締役社長	47
会長	渡部和人	渡部工業(株)	代表取締役社長	47
監事	遠藤邦彦	(株)遠藤重機建設	常務取締役	46
副会長	堀松誠	白鳥建設工業(株)	代表取締役社長	45
副会長	堀口哲志	(株)堀口組	代表取締役社長	42
会計	藤野徹弥	ハラダ工業(株)	代表取締役	40
広報	石山公介	(株)石山組	代表取締役	37
事務局	山本翔	ヤマモト巧建(株)	専務取締役	34
シニア	畑中修平	萌州建設(株)	代表取締役	57
シニア	居原田隆夫	(株)和秀	代表取締役	57
シニア	石山道徳	(株)メイク	代表取締役	56
シニア	山郷佳克	増毛土建(株)	会長	55
シニア	片岡俊浩	道北興業(株)	代表取締役	54
シニア	鹿兒島真	鹿兒島建設(株)	代表取締役	54
シニア	神勝男	光栄運輸(株)	代表取締役専務	54
シニア	奥山和彦	橋場産業(株)	代表取締役	54

旭川建設業協会二世会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	橋本 毅	(株)橋本川島コーポレーション	代表取締役社長	50
副会長	生駒 光宏	丸駒シビルサービス(株)	代表取締役	48
副会長	谷脇 勝英	(株)谷脇組	取締役社長	44
理事(会員交流委員会担当)	近藤 俊人	(株)近藤組	代表取締役	40
理事(地域貢献研修委員会担当)	新谷 逸生	新谷建設(株)	専務取締役	35
幹事(総務)	中館 孝彰	中館建設(株)	代表取締役	36
幹事(会計)	宮田 昌英	吉宮建設(株)	専務取締役	40
監査	花本 金行	花本建設(株)	代表取締役	50
会員交流委員会副委員長	高 秀宣	(株)高組	代表取締役社長	47
会員交流委員会	大野 裕継	大野土建(株)	取締役次長	35
会員交流委員会	菅原 大介	(株)イトイ産業	代表取締役副社長	39
会員交流委員会	寺島 峻介	第一建設(株)	代表取締役専務	33
会員交流委員会	吉田 寛	(株)中川阿部建設	代表取締役	43
会員交流委員会	大江 智宣	大江建設(株)	取締役	41
地域貢献研修委員会副委員長	本多 純芳	(株)浜田組	代表取締役	42
地域貢献研修委員会	荒木 崇宏	大北土工建工業(株)	取締役社長室長	31
地域貢献研修委員会	荒田 政一	(株)アラタ工業	代表取締役会長	46
地域貢献研修委員会	五十嵐 幸次	(株)五十嵐組	取締役副社長	34
地域貢献研修委員会	山元 亮馬	(株)山元組	取締役総務部次長	27
地域貢献研修委員会	森井 一輝	高橋建設(株)	取締役営業部長	37

小樽建設協会建世会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	進藤 竹則	(株)進栄	代表取締役	42
副会長	長 勇人	(株)長組	代表取締役社長	41
副会長	柏谷 匡胤	横関建設工業(株)	代表取締役社長	36
理事	中山 善彦	中山建設(株)	代表取締役社長	45
理事	佐竹 晃造	佐竹建設(株)	常務取締役	43
監事	瀬尾 孝志	瀬尾建設工業(株)	代表取締役副社長	44
監事	山谷 憲弘	(株)山谷建築店	代表取締役社長	42
	和田 哲也	和田建設工業(株)	代表取締役社長	48
	吉本 貴昭	(株)吉本組	代表取締役社長	45
	菅原 圭介	(株)スガワラ	代表取締役社長	45
	近藤 修弘	近藤工業(株)	常務取締役	48
	下田 家康	(株)下田組	代表取締役	39
	酒井 清明	日道建設運輸(株)	代表取締役	42
	白戸 正宏	(株)白戸工務店	代表取締役	38
	石澤 洋之	(株)石澤組	代表取締役	36
	庄子 奈介	久光工業(株)	常務取締役	44
	志比川 潤	(株)志比川組	代表取締役副社長	38
事務局長	菊地 真輔	菊地建設鉱業(株)	専務取締役	38

オホーツク二建会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	鴨下辰哉	北辰土建(株)	代表取締役社長	40
副会長	中村圭	(株)そうけん	代表取締役	38
副会長	窪田憲俊	窪田建設(株)	代表取締役副社長	47
副会長	高橋光貴	高橋土建(株)	代表取締役	44
事務局長	坂本智一	(株)坂本建設	代表取締役	44
副事務局長	猪狩貴諭	イガリ建設(株)	代表取締役	41
副事務局長	後藤武史	(株)三共後藤建設	専務取締役	37
会計	森谷晴紀	(株)渡辺組	代表取締役専務	46
総務委員長	美田大輔	美田建設工業(株)	代表取締役副社長	38
総務副委員長	松谷光浩	三和工業(株)	専務取締役兼土木部長	36
事業委員長	渡辺忍	吉井建設(株)	専務取締役	39
事業副委員長	松谷和秀	松谷建設(株)	常務取締役	37
監査	土田好起	斜里建設工業(株)	代表取締役社長	49
監査	五十嵐龍	五十嵐建設(株)	代表取締役	47
会員	前谷考則	北東開発工業(株)	代表取締役専務	50
会員	岸良明	(株)岸組	代表取締役社長	47
会員	久保毅剛	日東建設(株)	取締役企画室長	39
会員	小川耕佑	鈴木工業(株)	取締役常務	39
会員	早水誠	(株)早水組	代表取締役社長	38
会員	佐藤由晶	興和建设(株)	専務取締役	37
会員	工藤隆寛	(株)藤共工業	常務取締役	37
会員	久島玲一	北成建設(株)	代表取締役副社長	37
会員	管野浩太郎	(株)管野組	常務取締役	36
会員	丸田尚弘	(株)丸田組	取締役常務執行役員	34
会員	大原崇義	大原建設(株)	常務取締役総務部長	30
会員	中村光一	津別建設(株)	代表取締役	42
会員	土橋広侑	土橋工業(株)	常務取締役	33

宗谷建設青年会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	田中 太一	田中建設(株)	代表取締役社長	43
副会長	山本 博文	豊成建設(株)	代表取締役	44
副会長	佐藤 将弘	(株)佐藤組	取締役専務	42
事務局長	貝森 貴博	錦産業(株)	代表取締役専務	39
幹事	竹内 雅美	道北土建(株)	専務取締役	43
幹事	柳谷 英也	(有)柳谷建設	代表取締役	45
幹事	飯崎 一志	北武建設(株)	常務取締役	37
幹事	中田 有介	(株)中田組	取締役常務執行役員	31
幹事	藤田 拓憲	藤建設(株)	取締役企画部室長	26
幹事	佐藤 雄示	佐藤産業(株)	代表取締役社長	46
幹事	安部 征人	(株)安部産業	代表取締役専務	51
幹事	佐々木 淳	(株)佐々木組	代表取締役社長	44
幹事	安田 勝一	安田建設(株)	企画室長	32
監査	斎藤 敬介	(株)共成建設	専務取締役	50
監査	斎藤 直哉	三洋建設興業(株)	代表取締役	50
会員	石井 和雄	石塚建設興業(株)	設備部部长代理	46
会員	河村 洋	井出上建設(株)	専務執行役	52
会員	北野 克弘	北野建設(株)	常務取締役	54
会員	安田 大陸	国土開発工業(株)	専務取締役	43
会員	佐々木 正和	(株)ササキ	専務取締役	33
会員	今野 慎一郎	正田建設(株)	取締役業務部長	42
会員	鈴木 直也	(有)鈴木重機工業	代表取締役	47
会員	粥川 秀昭	大信建設(株)	常務取締役	38
会員	高橋 健	(株)高橋建設	代表取締役専務	30
会員	堂 俊英	土屋建設(株)	常務取締役	49
会員	寺澤 尚哉	(株)寺沢組	代表取締役社長	53
会員	丹羽 利喜雄	丹羽建設(株)	取締役工務部長	31
会員	北川 義和	(株)早坂組	常務取締役	54
会員	細谷 武昭	細谷建設(株)	代表取締役	44
会員	高橋 政志	北開建設(株)	代表取締役	53
会員	新野 裕司	(株)森崎組	現場主任	33



釧路建親会

地区役職	氏名	会社名	社内役職	年齢
会長	上田修平	(株)上田組	代表取締役副社長	39
副会長/経営委員長	高玉哲朗	高玉建設工業(株)	専務取締役	40
副会長/プロジェクト委員長	小澤慎司	開成建設工業(株)	代表取締役副社長	47
理事/総務委員長	渡部仁志	渡辺建設工業(株)	代表取締役社長	41
理事/総務副委員長/事務局	赤石隆哲	赤石建設(株)	代表取締役専務	43
監事/経営副委員長	山下大介	真壁建設(株)	専務取締役	37
監事/プロジェクト副委員長	竹嶋哲也	中村興業(株)	代表取締役副社長	44
	阿部和弘	阿寒共立土建(株)	工事部 主任	30
	池田優	夕力才工業(株)	代表取締役	49
	漆崎要	萬木建設(株)	代表取締役副社長	44
	小笠原浩幸	山洋建設(株)	専務取締役	48
	小野寺俊	(株)小野寺組	代表取締役社長	47
	川村聡史	市橋建設(株)	取締役社長室長	29
	佐々木泰三	(株)佐々木建設	代表取締役	44
	白崎喬大	白崎建設(株)	工事部 工事課	28
	西村佑太	釧石工業(株)	常務取締役	29
	林栄太郎	林建設工業(株)	代表取締役	49
	宮原崇成	(株)宮原組	取締役副社長	39
	村井剛大	村井建設(株)	社長室長	29

北海道建青会全道会員大会開催状況



32th
Hokkaido
Kenseikai
All Member Rally

「礎
いしずえ

次世代への基礎づくり

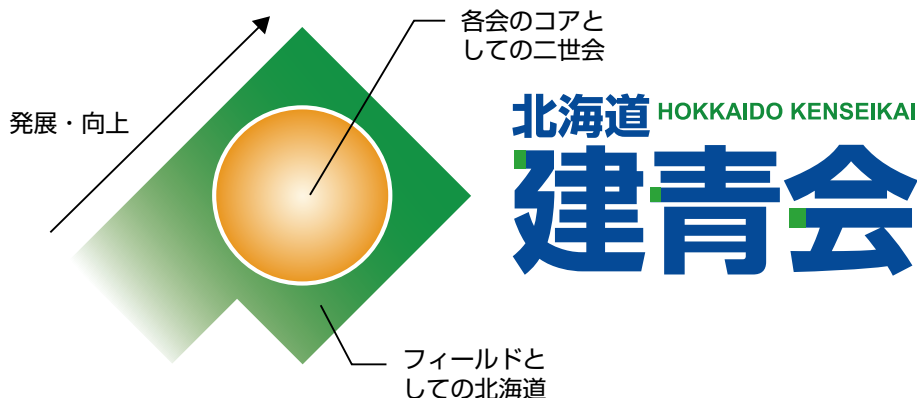
1th	主管 ▶ 道南建設二世会 テーマ ▶ おやし万歳
2th	主管 ▶ 室蘭経営研究会 テーマ ▶ 建設業が果たす地域活性化への役割
3th	主管 ▶ 帯広二世会 テーマ ▶ 建設二世として、いま何をすべきか
4th	主管 ▶ 空知経営研究会（葉月会） テーマ ▶ 今、地球に求められる建設二世とは！
5th	主管 ▶ 萌志会（留萌建設協会二世会） テーマ ▶ 地域創りのために行動する建設二世を目指して
6th	主管 ▶ 旭川建設業協会二世会 テーマ ▶ 夢をかたちに!!今、確かな道標を目指して
7th	主管 ▶ 小樽建設協会建世会 テーマ ▶ 今小樽から!!21世紀に躍動する建設二世を目指して
8th	主管 ▶ オホーツク二建会 テーマ ▶ 北の大地オホーツク！新たなパラダイムによる時代の構築を
9th	主管 ▶ 宗谷建設青年会 テーマ ▶ 変革の時!!建設業は今、生まれかわる…
10th	主管 ▶ 釧路建親会 テーマ ▶ 時代に喝、己に克、未来に活
11th	主管 ▶ 札幌建青会 テーマ ▶ 建設業21世紀への挑戦
12th	主管 ▶ 道南建設二世会 テーマ ▶ 北海道経済における建設業の重要性と役割
13th	主管 ▶ 室蘭経営研究会 テーマ ▶ 「変革に挑む」～力強く、しなやかに～
14th	主管 ▶ 空知経営研究会（葉月会） テーマ ▶ 「OPEN & SPEEDY」（あなたに未来は見えていますか？速きが遅きを食う時代）
15th	主管 ▶ 帯広二建会 テーマ ▶ 「北の大地 昨日、今日、そして明日」（自然と共生する建設産業にむかって）
16th	主管 ▶ 萌志会（留萌建設協会二世会） テーマ ▶ 「環（かん）」（子供達に夢、まちに元気、地域に希望）
17th	主管 ▶ 旭川建設業協会二世会 テーマ ▶ 「突破」（変化をつかみ新しい夢を！）
18th	主管 ▶ 小樽建設協会建世会 テーマ ▶ 全国建設青年会議 第2回全国会議
19th	主管 ▶ オホーツク二建会 テーマ ▶ 見つめよ未来・見直せ郷土 今、地域と共に創造を!!
20th	主管 ▶ 宗谷建設青年会 テーマ ▶ 地域ビジョン創造への挑戦！
21th	主管 ▶ 釧路建親会 テーマ ▶ 食の魅力を活かした北海道観光の発展～釧路からの挑戦!!～
22th	主管 ▶ 札幌建青会 テーマ ▶ 社長が変わらなければ、会社は変わらない
23th	主管 ▶ 道南建設二世会 テーマ ▶ Survival ～未来をつかむ～
24th	主管 ▶ 室蘭経営研究会 テーマ ▶ 未来へ向かって歩みだそう～続・変革～今を生き抜く力
25th	主管 ▶ 帯広二建会 テーマ ▶ 「笑顔」
26th	主管 ▶ 空知経営研究会（葉月会） テーマ ▶ 「元気創造」
27th	主管 ▶ 萌志会（留萌建設協会二世会） テーマ ▶ 「全国建設青年会議 第17回全国大会」
28th	主管 ▶ 旭川建設業協会二世会 テーマ ▶ 「人と地域をつなぐ感動を」
29th	主管 ▶ 小樽建設協会建世会 テーマ ▶ 輝望～コンストラクション プライド輝ける未来へ～
30th	主管 ▶ オホーツク二建会 テーマ ▶ 未来（次代）に繋げ！
31th	主管 ▶ 宗谷建設青年会 テーマ ▶ 「新化」～若者が未来を描ける建設業へ!～



MEMO

Lined area for writing notes, featuring horizontal dashed lines.

北海道建青会 ロゴ・マーク コンセプト



北海道という大きなフィールドの中で、各地域の目的と理念を一つとして共通のコア（核）を築き上げること、それを実現するように設計。

力強く描かれた四角形は、北海道はもとより、緑の大地がフィールドとすることを表すスクエア。

その中心に配するは、まさしく統一理念のコアとしてのサークル（集まり・仲間・円）、技術向上と地域社会の発展に絶えず目を見開き、会員相互の連携を深めることを目標とする。

ロゴタイプは、力強いスクエアとのバランスから、力強く存在感のある書体を設計。会員相互の連携、地域社会への発展に役立っていかうとする決意を表している。

コーポレートカラーは、メインカラーは自然を大切にしたいグリーンとし北海道の広大な大地をイメージしたカーキイエローを配色している。明るく、エコロジカルな表情に加え、若々しいイメージ表現を設計。

全国建設青年の日(7月28日:「なにかやろう」) ロゴ・マーク コンセプト

7・28
全国建設青年の日



建設業に携わる会社が、それぞれの地域の人々や社会と良好なパートナーシップを築き、豊かな自然と共生しながら住みやすい環境作りをともに創造していく。



北海道 HOKKAIDO KENSEIKAI
建青会

- 札幌建青会
- 函館建青会
- 室蘭経営研究会
- 帯広二建会
- 空知経営研究会(葉月会)
- 萌志会(留萌建設協会二世会)
- 旭川建設業協会二世会
- 小樽建設協会建世会
- オホーツク二建会
- 宗谷建設青年会
- 釧路建親会